

## 平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月15日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 テイツー  
 コード番号 7610 URL <http://www.tay2.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀 久志  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 荒井 薫

TEL 03-5719-4775

四半期報告書提出予定日 平成25年1月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年2月期第3四半期の業績(平成24年3月1日～平成24年11月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	23,522	△5.5	429	56.4	448	59.5	206	—
24年2月期第3四半期	24,880	—	274	—	281	—	△194	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	399.65	—
24年2月期第3四半期	△375.41	—

※24年2月期第3四半期の対前年対同四半期増減率につきましては、平成24年2月期第1四半期より連結財務諸表非作成会社となったため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第3四半期	12,535	5,442	43.4	10,548.39
24年2月期	12,220	5,366	43.9	10,349.90

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 5,440百万円 24年2月期 5,358百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	110.00	—	110.00	220.00
25年2月期	—	110.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	110.00	220.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年2月期の業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	△0.5	800	8.1	800	8.2	430	—	831.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、【添付資料】2ページ「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期3Q	526,400 株	24年2月期	551,400 株
25年2月期3Q	10,652 株	24年2月期	33,652 株
25年2月期3Q	517,429 株	24年2月期3Q	517,748 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ【業績予想に関する定性的情報】をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 追加情報 .....	2
3. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) セグメント情報等 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(6) 重要な後発事象 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東北地方において、復興への動きが緩やかに続いているものの、世界経済低迷の長期化や中国での日本製品不買運動などの影響から輸出が減少しているうえ、内需の動きも弱く、景気の先行き不透明感が高まっております。当社が属する小売・サービス業におきましても、消費マインドの冷え込みが続いており、依然として厳しい環境にあります。

このような経営環境の下、当社は、経営効率をさらに高めるためスクラップアンドビルドを実施し、古本市場店舗の出店と不採算店舗の閉店を行ったほか、神奈川県に独自のゲーム専門パッケージ店舗である3Bee（スリービー）第1号店と、TSUTAYA単独店を出店するなど、古本市場店舗のみならずお客様のニーズに応じた複数の店舗パッケージの出店戦略の展開を行ってまいりました。また、既存の古本市場店舗の売場を改装し、今後、ゲーム・古本と並ぶ第3の柱となりうる商材のトレーディングカードの拡販に向けた取り組みの強化を行うなど、将来の収益改善のための布石を投じてまいりました。

しかしながら、前第3四半期累計期間には含まれていたアイ・カフェ事業部門が、事業譲渡により当第3四半期累計期間に含まれていないことなどから、当第3四半期累計期間の売上高は235億2千2百万円（前年同期比5.5%減）となりました。一方利益面では、営業部門及び間接部門の業務効率化が進んだ結果、営業利益は4億2千9百万円（前年同期比56.4%増）、経常利益は4億4千8百万円（前年同期比59.5%増）、四半期純利益は2億6百万円（前年同期は1億9千4百万円の四半期純損失）となりました。なお、四半期純利益が大幅に増加した主な要因は、前事業年度に計上した資産除去債務に関する会計基準の適用等に伴う3億4千1百万円の特別損失をはじめとして、その他の特別損失が大幅に減少したことによるものであり、加えて、経常利益の純増が寄与しております。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は125億3千5百万円となり、前事業年度末と比べて3億1千5百万円増加いたしました。これは主にたな卸資産の増加によるものです。負債は70億9千2百万円となり、前事業年度末と比べて2億3千8百万円増加いたしました。これは短期借入金の返済を行った一方で、買掛金が増加したことによるものです。純資産は54億4千2百万円となり、前事業年度末と比べて7千6百万円増加いたしました。これは配当金の支払いがあった一方で、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものです。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の売上高は360億円（前期比0.5%減）、営業利益は8億円（前期比8.1%増）、経常利益は8億円（前期比8.2%増）、当期純利益は4億3千万円（前期は1千9百万円の当期純損失）を見込んでおり、平成24年10月2日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」で発表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (2) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期会計期間 (平成24年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,612,008	2,485,721
売掛金	300,329	370,672
有価証券	300,000	—
商品	3,907,897	4,532,689
貯蔵品	23,269	39,856
その他	708,924	610,805
流動資産合計	7,852,429	8,039,745
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	853,323	820,198
その他(純額)	704,758	702,994
有形固定資産合計	1,558,081	1,523,193
無形固定資産		
投資その他の資産		
差入保証金	1,262,971	1,251,499
その他	1,262,384	1,395,498
投資その他の資産合計	2,525,356	2,646,997
固定資産合計	4,367,684	4,495,975
資産合計	12,220,114	12,535,720
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	893,921	1,885,869
短期借入金	※ 750,000	—
1年内返済予定の長期借入金	781,859	630,524
未払法人税等	—	225,468
賞与引当金	68,148	46,485
ポイント引当金	256,888	236,061
資産除去債務	1,170	5,482
その他	671,937	712,810
流動負債合計	3,423,926	3,742,701
固定負債		
長期借入金	2,255,276	2,311,925
退職給付引当金	255,909	287,464
役員退職慰労引当金	177,245	139,240
資産除去債務	406,743	413,708
その他	334,673	197,717
固定負債合計	3,429,848	3,350,056
負債合計	6,853,774	7,092,758

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期会計期間 (平成24年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,165,507	1,165,507
資本剰余金	1,119,796	1,119,796
利益剰余金	3,323,466	3,231,221
自己株式	△249,199	△73,659
株主資本合計	5,359,570	5,442,865
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△931	△2,553
評価・換算差額等合計	△931	△2,553
新株予約権	7,700	2,650
純資産合計	5,366,339	5,442,962
負債純資産合計	12,220,114	12,535,720

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	24,880,155	23,522,130
売上原価	17,984,869	16,698,217
売上総利益	6,895,285	6,823,913
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	193,379	139,366
従業員給料及び賞与	1,264,277	1,153,348
パート・アルバイト給与	834,103	891,539
賞与引当金繰入額	45,156	46,485
役員退職慰労引当金繰入額	19,879	16,203
退職給付費用	40,485	43,508
賃借料	1,499,926	1,492,003
減価償却費	399,399	338,776
のれん償却額	—	1,485
その他	2,324,175	2,271,903
販売費及び一般管理費合計	6,620,781	6,394,620
営業利益	274,504	429,292
営業外収益		
受取利息	3,459	2,745
受取配当金	796	1,282
受取賃貸料	27,701	40,271
営業補償金	—	10,000
保険解約返戻金	—	10,284
補助金収入	17,885	4,366
その他	13,615	27,604
営業外収益合計	63,458	96,555
営業外費用		
支払利息	29,240	36,958
不動産賃貸費用	23,911	34,167
その他	3,714	6,365
営業外費用合計	56,866	77,491
経常利益	281,096	448,356
特別利益		
新株予約権戻入益	21,001	—
その他	5,544	—
特別利益合計	26,546	—

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)
特別損失		
固定資産除却損	6,176	7,009
減損損失	12,601	—
店舗閉鎖損失	58,763	17,127
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	341,509	—
アイ・カフェ事業譲渡損失	102,199	—
その他	17,428	—
特別損失合計	538,678	24,137
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△231,036	424,218
法人税等	△36,668	217,429
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△194,367	206,789



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間（自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日）

当社は、「マルチパッケージ販売事業」を単一の報告セグメントとしており、その他の事業は金額的重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間（自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日）

当社は、「マルチパッケージ販売事業」を単一の報告セグメントとしている為、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。